

2か月間無料!



試し読み キャンペーン

実施中

毎週おとどけ



▲新聞QR

農業共済新聞を読めば分かるシリーズ

- 1 農業・営農の今が分かる
- 2 農政の動きが分かる
- 3 農業共済・収入保険の仕組みが分かる
- 4 所得確保や経営改善の手がかりが分かる
- 5 暮らしを豊かにするヒントが分かる



人気コーナー

農家や研究者
のコラム
「ズバリ直言」



農業女子が
思いを寄せる
「晴れ間」



役立つ
営農技術情報



充実の地方版



広報 NOSAI 東京

NO. 35 東京都農業共済組合 広報誌

CONTENTS

- ・令和7年産水稻作柄概況見回り調査
- ・台風22号の被害速報（八丈町）
- ・果樹共済フェロモントラップの結果について
- ・東京都の農業者紹介
- ・農業共済新聞の紹介



安心のネットワーク

NOSAI 東京

広報 No.35 令和7年11月発行 ※本誌の無断転載を禁じます

発行：NOSAI 東京（東京都農業共済組合）

〒184-0004 東京都小金井市本町6-9-35 TEL.042-381-7111

●ホームページ <https://www.nosai-tokyo.jp/>

●メールアドレス info@nosai-tokyo.jp



安心のネットワーク

NOSAI 東京

令和7年産水稻作柄概況見回り調査の実施

令和7年9月2日（火）に**水稻の作柄概況見回り調査**を実施しました。この調査は、東京都全域の水稻の作柄概況や減収量を把握するために毎年実施しています。



【府中市の圃場】↓

最初に訪問した府中市の水田にて各委員の評価眼の統一を行ったのち、二班に分かれ、八王子市、国立市、日野市、町田市、あきる野市、羽村市の合計7地域、22筆の水田を調査しました。

⇒結果⇒全地域被害無、倒伏無。
生育状況に問題はありませんが、やや粒が小さい圃場が見受けられました。



本調査は、損害評価会 農畑作物共済部会の**両角正博**部会長（西多摩農業改良普及センター所長）のもと、**濱松潮香**委員（東京都農林総合研究センター所長）、**石川孝治**委員（府中市）、**紅林隆男**委員（昭島市）に調査を実施していただきました。また、オブザーバーとして、**本澤正志氏**（関東農政局）、**本間麻枝氏**（東京都産業労働局農林水産部農業振興課）にもご参加いただきました。

【作柄予想(関東農政局情報提供)】

令和7年度の東京都の作柄は、猛暑と水不足の影響が心配されたものの、**ほぼ平年通りの作柄**という調査結果となりました。(8/15 現在)

また、農林水産省が公表する全国の概要では、気象データから令和7年産水稻10a当たり収穫量の前年見込は「上回る」、「やや上回る」が**13府県**、「前年並み」が**29都道府県**、「やや下回る」が**4県**となりました。関東農政局管内では、栃木県、群馬県、東京都は「平年並み」でした。一方、埼玉県、千葉県、神奈川県並びに山梨県で「やや下回る」となりました。

米の価格下落にも備える「収入保険」

米の需要動向に社会的関心が集まる中、「収入保険制度」は価格低下を含む幅広いリスクに対応できる優れたセーフティーネットとして、その重要性がより一層高まっています。

昨夏から始まった“令和の米騒動”による米の価格高騰を受け、政府は備蓄米の放出に踏み切りました。さらに生産現場では主食用米の増産意欲が高まっており、生産量の拡大が見込まれています。これら供給の増加要因が強まる中でも、今後の米の需要予測は見通しがたっておらず、令和7年産以降の米価の動向を心配する声も広がっています。

収入保険制度は、価格低下や販売不振をはじめ、頻発する気象災害、病虫害、農業者自身の病気やケガなどによる収入減少を幅広く補償する仕組みとなっています。令和2年の新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、飲食店等の米の需要が低迷し、米価が下落するなどした際にも、つなぎ融資の貸し付けや保険金等の支払いを通じて、ご加入いただいている農業者の経営継続を支える重要な役割を担いました。

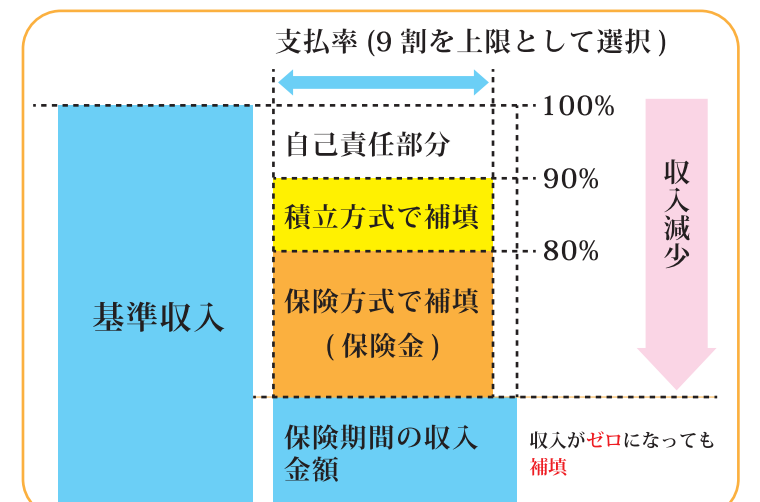
米の需給が不安定化する中、農業者の経営安定を図り、持続可能な水田農業を実現していくための重要なセーフティーネットとして収入保険制度が果たす役割はますます大きくなると期待されています。NOSAI 東京では、農業者に制度内容をより丁寧に説明することを徹底し、引き続き収入保険の加入推進に取り組めます。

米農家の“3つの不安を”まとめて解決

 米価の下落 価格の低下を補償でカバー	 台風・豪雨・高温 “もしも”の収穫量減少にも対応	 病虫害 広くカバーするセーフティーネット
--	--	--

農業収入が減少しても、収入保険で補償することができます！

●例えば、基準収入100万円の方の場合（5年以上の青色申告実績がある方）、保険料10,800円、積立金22,500円、付加保険料（事務費）6,300円で、保険期間の収入がゼロになったときは、最大81万円（積立金9万円、保険金72万円）の補填が受けられます。



○台風第22号における八丈町の被害速報

令和7年10月9日に伊豆諸島に接近した台風22号は、八丈町で最大瞬間風速54.7m/秒を記録し、暴風雨や土砂崩れ等により多くの世帯で断水、停電を起こすなど住民の生活に甚大な影響をもたらしました。台風により被害を受けた園芸施設については、10月16日現在で、89棟となっています。

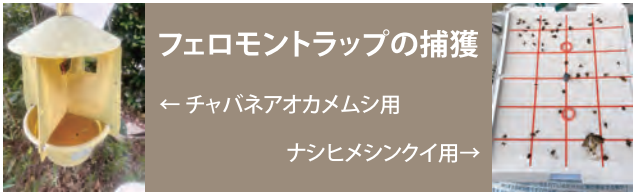
本組合では、10月15日に職員2名を派遣して、八丈町役場職員と共に、被害概況や宿泊施設の復旧状況等、損害評価体制構築のための情報収集活動を実施しました。迅速で適切な損害評価に努め、被害を受けた皆様のため、11月末の共済金支払いに向けて準備を進めています。



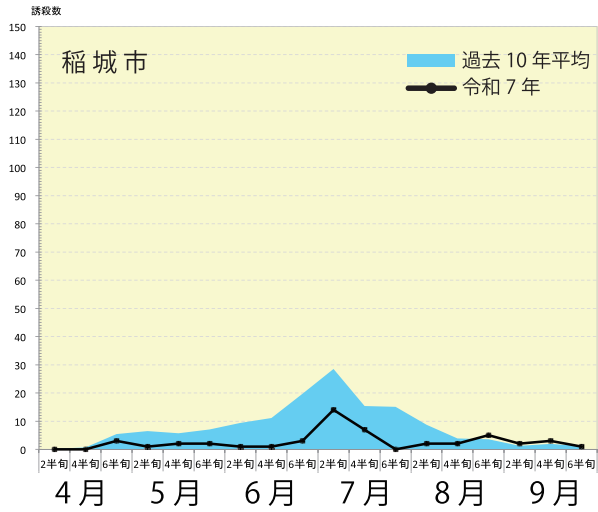
台風第22号（令和7年10月9日）による被害申告数(速報) 令和7年10月16日現在

	被害戸数 (戸)	被害棟数 (棟)	主な地域等	最大瞬間風速(m/s)				アメダス観測地点	概要
				10/8	10/9	10/10	降水量		
東京管区	2	2	特別区及び多摩地域	6.1	17.2	7.1	0.0	千代田区 大手町	
大島町	4	6		15.9	25.2	10.1	15.5	大島町 元町 字家の上	本体・被覆
				13.9	26.7	10.8	2.0	大島町 元町 字北の山	
新島村	1	1		15.4	25.2	11.3	4.5	新島村 川原	被覆
神津島村				17.0	28.8	13.9	14.5	神津島村 金長	
三宅村	1	2		18.8	34.2	11.9	57.0	三宅村 神着	被覆
				16.5	34.5	12.3	53.0	三宅村 坪田	
八丈町	41	89		24.9	54.7	13.5	431.0	八丈町 大賀郷	本体・被覆（全損あり）
				15.4	54.0	11.8	327.5	八丈島 空港出張所	
小笠原村	2	2	母島	14.4	12.6	7.9	0.0	小笠原村 父島 字西町	10/6 26.1m/s 被覆
合計	51	102							

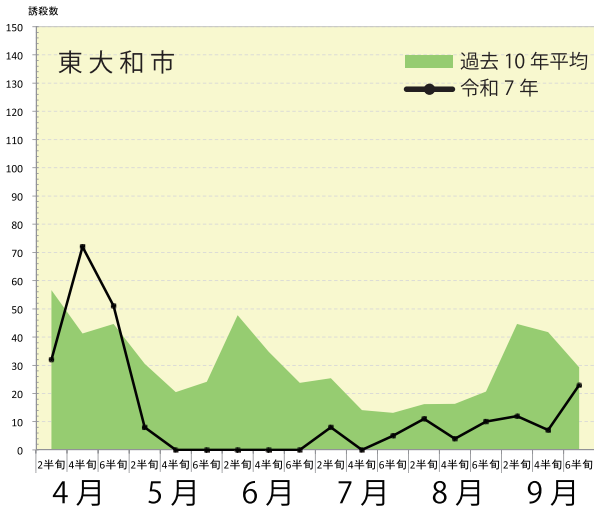
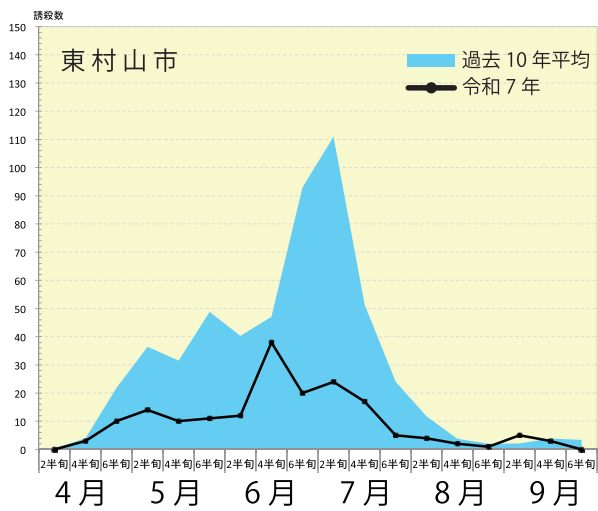
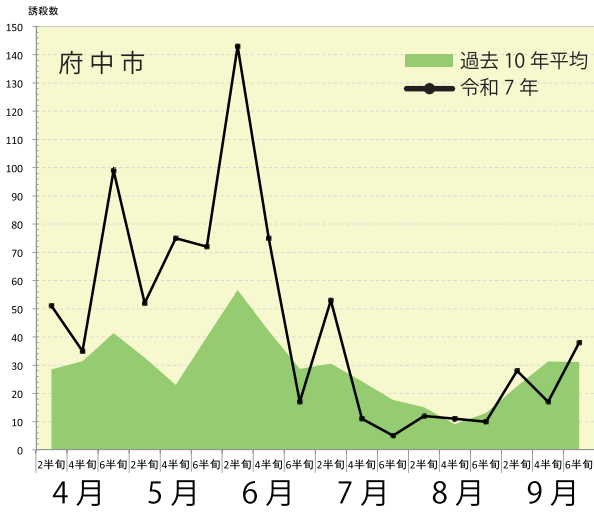
果樹共済損害防止事業
フェロモントラップ



令和7年度 チャバネアオカメムシ 発生消長



令和7年度 ナシヒメシンクイ 発生消長



【フェロモントラップ】とは、昆虫の性フェロモンを人工的に合成した誘引剤を捕獲機の中に設置したものです。誘殺された雄成虫の数を調査することによって、害虫の発生状況を把握することができます。

当組合では、梨の害虫であるチャバネアオカメムシの調査を稲城市と東村山市、ナシヒメシンクイの調査を府中市と東大和市で実施しております。

令和7年度の調査結果

今年度は、チャバネアオカメムシの誘殺数が稲城市、東村山市とも過去10年平均より下回る結果となりました。

また、ナシヒメシンクイについては、府中市で4月～6月にかけて2倍以上の数値となりましたが、7月中旬頃から過去平均より下回る結果となりました。東大和市においては、4月初旬に過去平均値の2倍弱の誘殺数を記録しましたが、今年度は年間を通じて平年より下回る結果となりました。

このフェロモントラップの調査結果は当組合ホームページにてご確認くださいので、防除の目安としてご活用ください。(https://nosai-tokyo.jp/)

国分寺の農業者と 地域に愛されるコロッケ屋さんを紹介します！

東京に農地を残す使命感で

国分寺市 小坂 知儀(ともよし)さん「小坂農園」(野菜等)



国分寺の
野菜を皆様
お届けします！



国分寺市で150種近くの野菜を生産しています。栽培した野菜は、直売の他「JAファーマーズ」や学校給食にも卸しています。おいしい野菜を届けられるよう日々頑張っています。また、江戸東京野菜の東京うどや馬込半白きゅうり、谷中しょうがなどの普及と保存にも力を入れています！！

野菜生産のこだわりは、減農薬です。一緒に植えることで、病害虫を遠ざける効果を持つコンパニオンプランツや、カブリダニ等の天敵資材を利用して減農薬に努めています。手間はかかりますが、美味しかったと言ってくれる声が励みです。

また、自宅敷地内に店舗を構える【コロッケの丸愛】さんに野菜を提供して、おいしいコロッケと交換してもらうこともあります。

直売では、自宅前直売所と毎週末に六本木のヒルズマルシェに出店して販売しています。小学生の子供たちが手伝ってくれることもあり、成長を頼もしく感じています。

東京の農地が減少していく中で、子供たちに畑を残せるように使命感をもって営農しています。

地元産の野菜でおいしいコロッケを

国分寺市 斉藤 功次さん「コロッケの丸愛」



皆様のお越し
をお待ちして
おります!!



国分寺市で【コロッケの丸愛】を営業しています。元々35年前にお肉屋さんとして別の場所で営業していました。その後、永く付き合いのあった小坂さんの自宅の敷地を借りて、8年前に大好きなコロッケのお店を開店しました。

国分寺市の旬な野菜を使ったコロッケをお客様に提供することがこだわりです。国分寺産の里芋を使った【里芋コロッケ】や、じゃが芋、里芋、さつまいもが入った【おいも3兄弟コロッケ】がとても人気です。年明けには、国分寺産の東京うどを使った

【うどコロッケ】も提供しています(※他にもゴーヤや栗も季節限定で販売)。一つ一つ手作りのため、手間がかかりますが、お客様の声をやりがいに、これからも美味しいコロッケを皆様に提供できるよう1日でも長く続けていきたいです。

コロッケの丸愛 住所:国分寺市東元町2-11-11
製造日(休):月・火・水曜日 ☎:042-321-5995
<https://maps.app.goo.gl/nenPbbzVxnatiNnHA>

東京都の農業者紹介

「真っ赤なルバーブで村を元気に」

西多摩郡檜原村

鈴木留次郎さん 農産物加工販売「ひなたぼっこ」代表(ルバーブ等)



「村で経済を回し、元気にしたい」と話す、東京都檜原村でルバーブなどを栽培する鈴木留次郎さん。

東京都心から車で約1時間半、豊かな山々に囲まれる檜原村。鈴木さんは、自宅近くの圃場でルバーブや江戸東京野菜の「白岩ウリ(シラヤウリ)」

「おいねのつる芋」などを栽培するほか、近隣に自生するナツハゼやイタヤカエデを使用した加工品の製造・販売などを行う。

ルバーブは現在、約1アールの傾斜地で約200株を栽培。例年3月頃に植え替え、6月初旬～7月にかけて収穫する。

作付けの際は、同村で栽培されるマイタケの廃菌床を砕いたものを譲り受け、ルバーブの株元に被せるようにまく。「廃菌床をまくと生育が全然違う。大きく、どんどん伸びてくるんです」と鈴木さんは話す。

ルバーブは一般的に加工して食べる。自宅裏の加工所でジャムを製造し、村内の直売所や役場内の喫茶店「カフェせせらぎ」などで販売してきた。また、東京女子学園中学校・高等学校など都内の複数の教育機関に食を学ぶ教材の一つとしてルバーブを提供し、加工のアドバイスも行った。

同村で生まれ育った鈴木さん。林業の衰退や人口減少に危機を感じ、「村に人を呼んで、お金を落としてもらうにはお土産が必要。自分で作るしかないと思った」と当時を振り返る。

ルバーブ栽培は、平成15年に神奈川県鎌倉市の知人から「標高が高く、冷涼な檜原村の気候に合うのではないかと株を分けてもらったことがきっかけ。その後は毎年株を増やしてきた。今では、鈴木さんの元には、近隣の自治体から「うちでもルバーブを栽培できないか」という相談が寄せられる。

鈴木さんは、同村じゃがいも栽培組合の会長も務め、じゃがいもを使用した焼酎開発にも関わる。同村を元気づけるため、日々挑戦し続ける鈴木さん。「一日24時間では足りないですね」と笑顔をみせる。

(農業共済新聞 令和7年7月3週号連携記事)

ルバーブとは＝タデ科の多年草で、葉柄を食べる。北欧などでは古くから栽培されてきた。寒冷地に適した作物で、長野県や北海道などで栽培されている。